

2019年3月期
決算説明資料

2019年 5月 14日

I. 2019年3月期 業績

・概要	(3) ~ (6)
・セグメント別実績	(7) ~ (10)
・当初予想との比較	(11)
・主要指標	(12)
・財政状態計算書	(13)
・キャッシュフロー	(14)

II. 中期経営計画の振り返りとストレッチについて

・概要	(16) ~ (20)
・定量計画	(21) ~ (22)
・設備投資／研究開発投資	(23)
・進捗と課題	(24) ~ (25)

	(頁)
・PGA事業の拡大	(26) ~ (27)
・PVDF事業の拡大	(28)
・株主還元に関する考え方	(29)

III. 2020年3月期 業績予想

・概要	(31) ~ (33)
・セグメント別予想	(34) ~ (37)
・主要指標	(38)
・キャッシュフロー予想	(39)

IV. 連結対象会社の概要

	(41) ~ (42)
--	-------------

I. 2019年3月期 業績

2019年3月期 決算の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減額 (率)	中計 目標値
売上収益	1,473	1,483	9 (0.6%)	1,600
営業利益	130	172	42 (32.4%)	140
税引前利益	127	174	48 (37.5%)	140
親会社の所有者に 帰属する当期利益	97	139	42 (43.7%)	90
ROE (%)				
(親会社利益÷親会社帰属資本)	7.1	9.0		6.0
ROA (%)				
(税引前利益÷資産合計)	5.3	7.1		
ROS (%)				
(営業利益÷売上収益)	8.8	11.6		8.8
EPS (円)				
(親会社利益÷期中平均株式数)	507.5	679.6		
1株当たり配当金 (円)	125.0	165.0		

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

建設関連が大きく減収となったものの、機能製品が大きく増収となり、あわせて増収。

〔営業利益〕

機能製品の増益とその他の費用の減少により、あわせて増益。

〔税引前利益〕

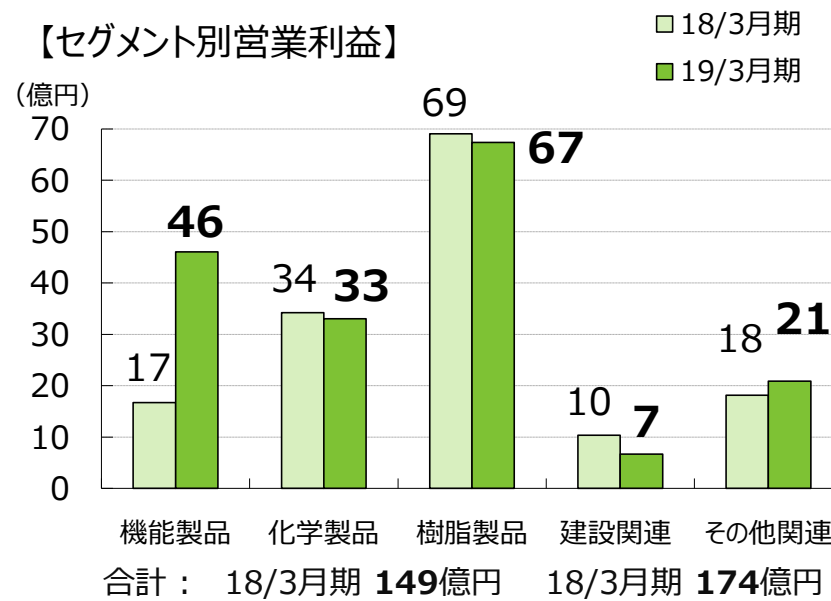
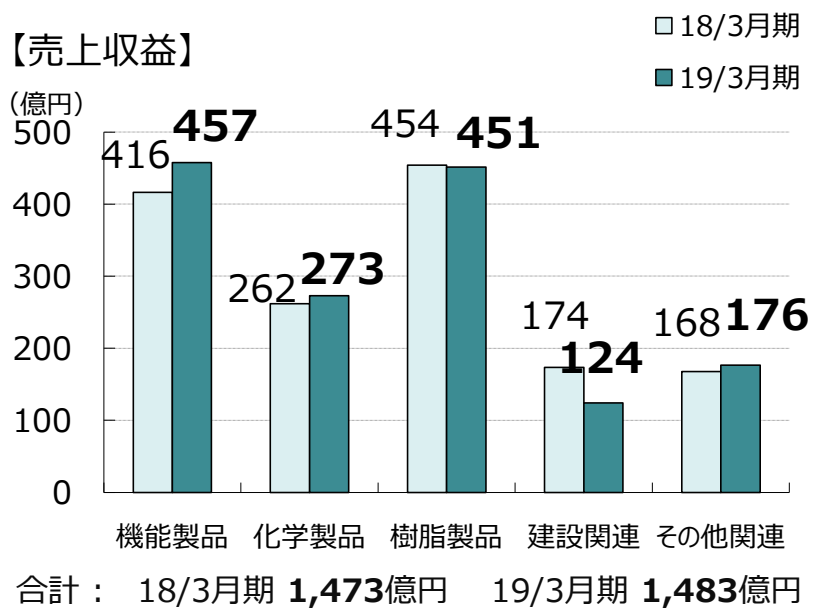
営業利益増加と金融収支の改善により増益。

〔親会社当期利益〕

税引前利益の増加により、増益。

KUREHA

〔セグメント別 前期比較〕



<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 機能樹脂、炭素製品ともに増益。
- 〔化学製品〕 医薬品と工業薬品は増益も、農薬が減益。
- 〔樹脂製品〕 合成繊維は増益も、家庭用品と業務用包材が減益。
- 〔建設〕 建築工事が減益。
- 〔その他〕 環境事業が利益横ばい、運送事業と病院事業は増益。

2019年3月期 決算の概要 (3)

2018年3月期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	416	262	454	174	168	1,473		1,473
調整							2	
その他の収益(+)							5	
その他の費用(-)							26	
営業利益	17	34	69	10	18	149	-19	130
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ー						6	
金融費用(-)							9	
税引前利益								127
親会社利益								97

…補助金収入 3億円
 …固定資産除売却損 13億円
 固定資産減損 7億円
 環境対策引当金 4億円

2019年3月期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	457	273	451	124	176	1,483		1,483
調整							1	
その他の収益(+)							6	
その他の費用(-)							9	
営業利益	46	33	67	7	21	174	-2	172
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ー						7	
金融費用(-)							4	
税引前利益								174
親会社利益								139

…補助金収入 3億円
 …固定資産除売却損 8億円

<その他の収益・費用の明細>

2018年3月期

その他の収益	補助金収入	3
	(地域復興実用化補助金等)	
5 億円	その他	2

その他の費用	固定資産除売却損	13
	減損損失	7
	(旧PVDCプラント、 中国炭素繊維設備)	
	環境対策引当金	4
	その他	2
26 億円		

2019年3月期

(単位：億円)

その他の収益	補助金収入	3
	(地域復興実用化補助金等)	
6 億円	その他	2

その他の費用	固定資産除売却損	8
	その他	1
	9 億円	

【機能製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
機能樹脂	244	273	29	12%
炭素製品	49	51	2	4%
クレハ単体 計	294	325	31	10%
連結子会社	296	313	17	6%
連結売上消去	-173	-181	-7	-
連結売上収益	416	457	41	10%
連結営業利益	17	46	29	176%

<前期比> 増収 ↑ 増益 ↑

機能樹脂

PPSが減収となるも、LiBバインダー用途向けPVDF、シェールオイル・ガス掘削用途向けPGAは増収となり、**増収・増益**。

炭素製品

炭素繊維の売上が増加し、**増収・増益**。

KUREHA

【化学製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
農薬	92	83	-8	-9%
医薬品	38	51	12	32%
工業薬品	94	101	7	7%
クレハ単体 計	224	235	11	5%
連結子会社	65	71	6	9%
連結売上消去	-27	-33	-5	-
連結売上収益	262	273	11	4%
連結営業利益	34	33	-1	-4%

<前期比> 増収 ↑ 減益 ↓

農薬

農業・園芸用殺菌剤の売上が減少し、**減収・減益**。

医薬品

薬価改定等の影響あるも数量が増加し、**増収・増益**。

工業薬品

価格改定の浸透により、**増収・増益**。

KUREHA

【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減 (率)	
家庭用品	207	208	1	0%
業務用包材	63	62	-1	-1%
クレハ単体 計	270	271	0	0%
業務用包材(海外)	131	126	-5	-4%
合成繊維	42	44	2	5%
その他	74	67	-7	-9%
連結子会社 計	248	238	-10	-4%
連結売上消去	-64	-57	7	-
連結売上収益	454	451	-2	-1%
連結営業利益	69	67	-2	-2%

<前期比> 減収 ↓ 減益 ↓

家庭用品

家庭用ラップ「NEWクレラップ」の売上が増加したが、経費が増加し、**増収・減益**。

業務用包材

熱収縮多層フィルムの売上が減少し、**減収・減益**。

合成繊維

釣り糸の売上が増加し、**増収・増益**。

KUREHA

【建設・その他】セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
建設関連事業	239	203	-36	-15%
連結売上消去	-66	-79	-13	-
連結売上収益	174	124	-49	-28%
連結営業利益	10	7	-4	-36%

【その他関連】

環境事業	110	120	10	9%
運送事業	83	83	0	0%
病院事業	36	37	1	3%
その他	18	19	1	5%
連結子会社 計	247	259	12	5%
連結売上消去	-79	-83	-3	-
連結売上収益	168	176	9	5%
連結営業利益	18	21	3	15%

【建設関連】

<前期比> 減収 ↓ 減益 ↓

土木工事は堅調も建築工事が減少し、
減収・減益。

【その他関連】

<前期比> 増収 ↑ 増益 ↑

環境事業は産業廃棄物処理等が増加し、
増収・増益。

運送事業は**減収・増益。**

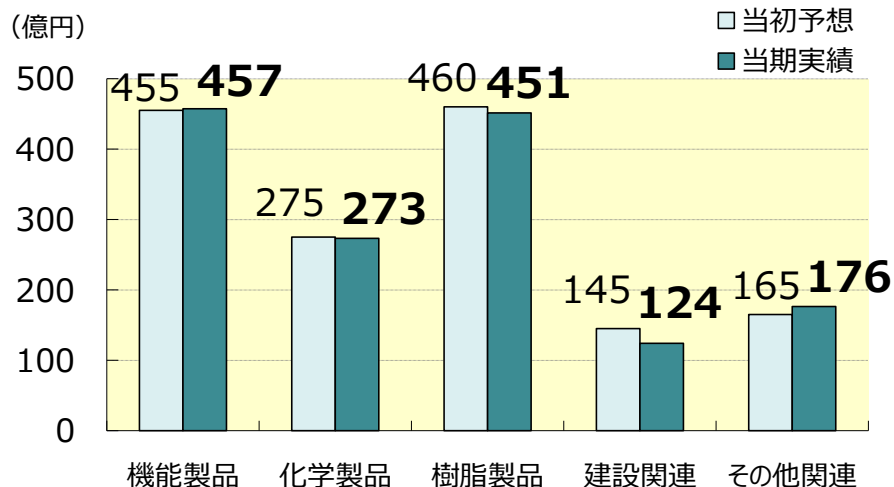
病院事業は**増収・増益。**

KUREHA

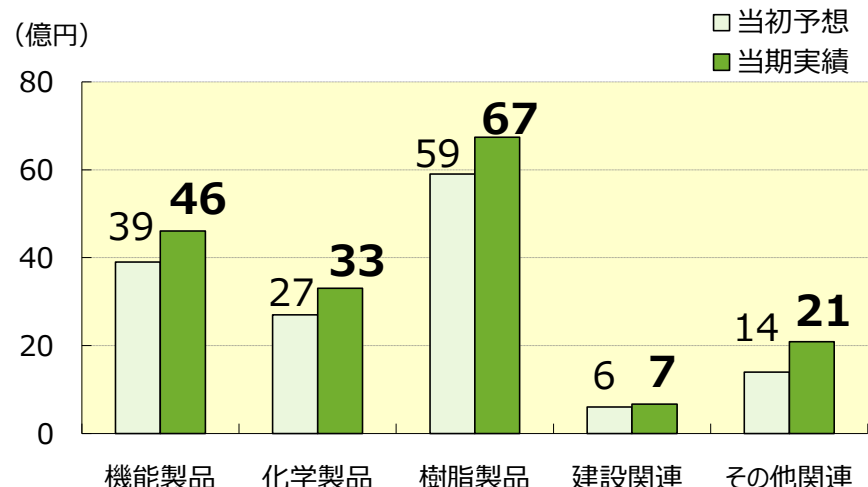
2019年3月期 当初予想（2018年5月）との比較

株式会社クレハ

【売上収益】当初予想 1,500億円 ⇒ 当期実績 1,483億円 【営業利益】当初予想 140億円 ⇒ 当期実績 172億円



為替 当初予想 → 実績
 105 → 110.9円/\$
 130 → 128.4円/€
 16.5 → 16.5円/元



(セグメント合計：当初予想 **145**億円 当期実績 **174**億円)
 (その他の収益・費用：当初予想 **▲5**億円 当期実績 **▲2**億円)

<セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 PGAとPPSが下ぶれしたものの、PVDFと炭素繊維が上ぶれし、上ぶれ。
- 〔化学製品〕 農薬の為替寄与と工業薬品の採算改善で、上ぶれ。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の経費減と合成繊維の増益により、上ぶれ。
- 〔建設〕 ほぼ当初予想どおり。
- 〔その他〕 産業廃棄物処理が増加し、上ぶれ。

KUREHA

		2018年3月期			2019年3月期			増減額 (率)	
		上期 実績	下期 実績	年間 実績	上期 実績	下期 実績	年間 実績		
設備投資額		40	58	98	58	74	132	34	(35%)
減価償却実施額		49	50	99	50	53	103	4	(4%)
研究開発費		23	27	50	25	28	53	3	(6%)
有利子負債残高		560	481	481	459	390	390	-91	(-19%)
為替レート (円/\$)	期中平均	111.0	110.7	110.9	110.3	111.6	110.9		
	期末	112.7	106.2	106.2	113.6	111.0	111.0		
(円/€)	期中平均	126.3	133.1	129.7	129.8	127.1	128.4		
	期末	132.9	130.5	130.5	132.1	124.6	124.6		
(円/元)	期中平均	16.4	17.1	16.7	16.7	16.3	16.5		
	期末	17.0	16.9	16.9	16.5	16.5	16.5		

1. 資産の部

	2018年 3月末	2019年 3月末	増減
現金・現金同等物	65	60	-5
営業・その他債権	327	307	-19
棚卸資産	360	383	23
その他流動資産	18	37	19
流動資産計	770	788	18
有形固定資産	1,142	1,176	33
無形固定資産	13	11	-2
投資等	497	499	2
非流動資産計	1,653	1,686	33
資産合計	2,423	2,474	51

2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2018年 3月末	2019年 3月末	増減
営業・その他債務	215	240	25
有利子負債	481	390	-91
引当金	66	68	2
その他負債	140	153	13
負債計	902	852	-51
資本金	182	182	-
資本剰余金	153	150	-2
自己株式	-7	-37	-30
利益剰余金	1,087	1,224	136
その他の資本	87	87	-1
非支配株主持分	18	16	-2
資本計	1,520	1,622	101
負債・資本合計	2,423	2,474	51

(単位:億円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減
税引前当期利益	127	174	48
減価償却費および償却費	99	103	4
その他	-24	-44	-20
営業キャッシュフロー	202	234	32
投資キャッシュフロー	-97	-84	13
財務キャッシュフロー	-104	-155	-51
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	-0	-2
現金及び現金同等物の増減額	3	-5	-7
現金及び現金同等物の期首残高	62	65	3
現金及び現金同等物の期末残高	65	60	-5

Ⅱ.中期経営計画の振り返りとストレッチについて

「Kureha's Challenge 2018」 ～製品差別化と新事業創出～

経営目標

事業目標

- ・ 既存事業の競争力・収益力向上
- ・ PGA事業の拡大
- ・ 新規事業テーマの探索促進

CSR経営の推進

経営基盤の強化

定量目標：営業利益140億円

将来の発展に向けた土台作りの期間

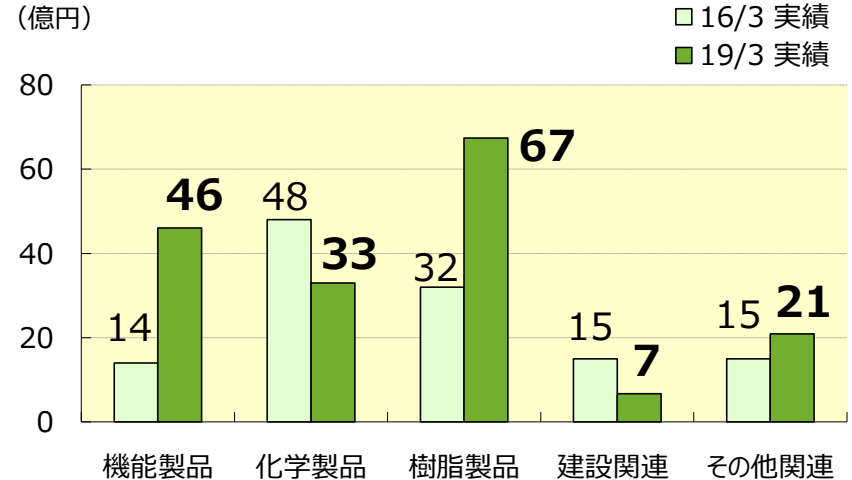
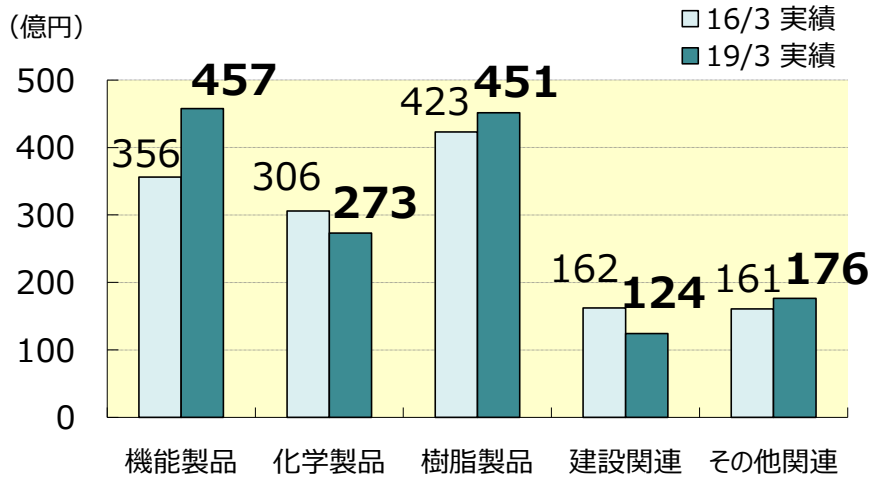
＜当社の目指す方向性＞

「技術立社」企業として、
スペシャリティ・ケミカル分野
において、
差別化された製品を開発
し、社会に貢献し続ける
高付加価値型企业となる
ことを目指します。

2019年3月期実績： 2016年3月期実績（前中計最終年度）との比較

【売上収益】16/3期 1,408億円 ⇒ 19/3期 1,483億円

【営業利益】16/3期 74億円 ⇒ 19/3期 172億円



(セグメント合計 : 16/3期 124億円 ⇒ 19/3期 174億円)
(その他の収益・費用 : 16/3期 ▲50億円 ⇒ 19/3期 ▲2億円)

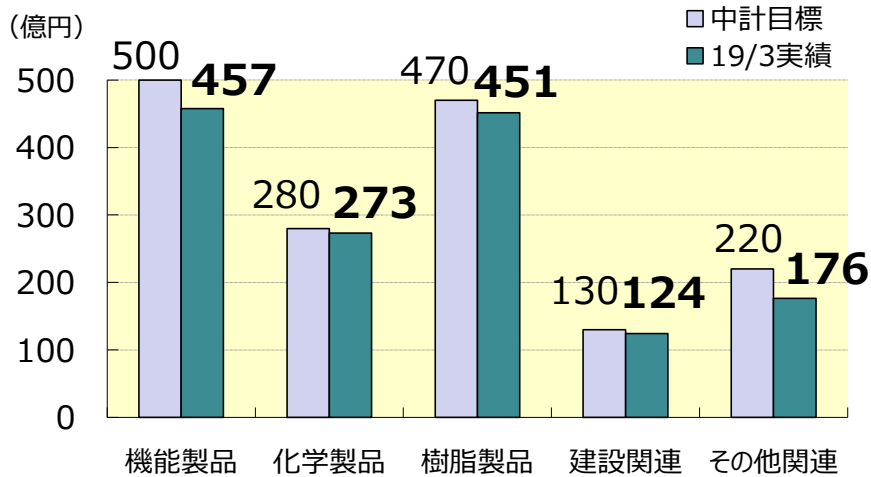
<営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 P V D Fの利益拡大、炭素製品の採算改善、P P Sは利益減少
- 〔化学製品〕 医薬品と農薬の利益減少
- 〔樹脂製品〕 家庭用品と合成繊維の利益拡大、業務用包材の採算改善
- 〔建設〕 復興需要の減少で利益減少
- 〔その他〕 環境事業の利益拡大、運送事業と病院事業の採算改善

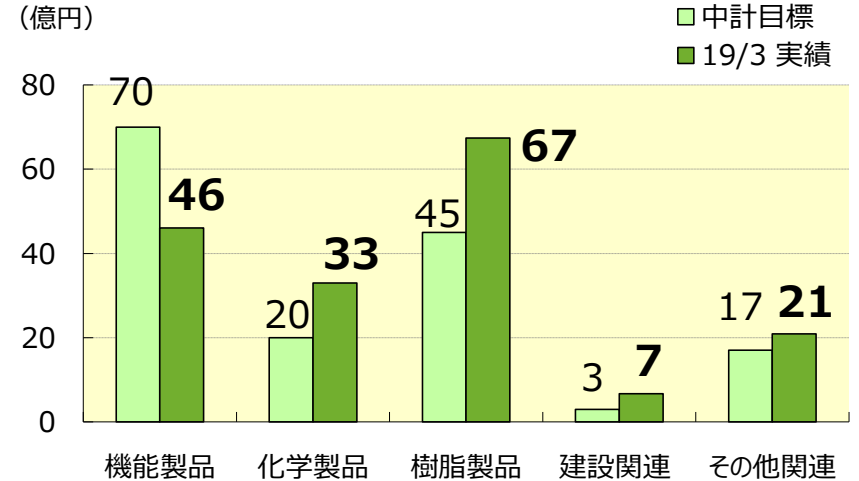
(その他の収益・費用) 16/3期に構造改革費用(45億円)、固定資産除却損(11億円)を計上

2019年3月期実績： 中計オリジナル目標値との比較

【売上収益】中計目標 1,600億円 ⇒ 実績 1,483億円



【営業利益】中計目標 140億円 ⇒ 実績 172億円



(セグメント合計 : 中計目標 155億円 ⇒ 19/3期 174億円)
(その他の収益・費用 : 中計目標 ▲15億円 ⇒ 19/3期 ▲2億円)

<営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 P V D Fと炭素製品は超過達成、P P SとP G Aは計画未達
- 〔化学製品〕 農薬、医薬品、工業薬品いずれも超過達成
- 〔樹脂製品〕 家庭用品と合成繊維が超過達成、業務用包材は計画未達
- 〔建設〕 原価低減等で超過達成
- 〔その他〕 運送事業と病院事業は超過達成、環境事業は計画通り
- (その他の収益・費用) 固定資産除売却損の減少

Kureha's Challenge 2018 において

定量計画は超過達成も

(営業利益172億円)

下記の重点施策は道半ば

- ✓PGA事業の拡大
- ✓新規事業創出
- ✓経営基盤の強化

2年間
ストレッチ

Kureha's Challenge 2020

- 重点施策の完遂
- 事業環境の変化を踏まえた新たな課題に着手

将来の発展に向けた
土台を固める期間

2016~2018

2019~2020

KUREHA

「Kureha's Challenge 2020」 ～製品差別化と新事業創出～

経営目標

- ・PGA事業の拡大と利益創出
- ・PVDF事業の更なる拡大
- ・既存事業のビジネスモデル最適化
- ・新規事業の国内外における探索と育成
- ・経営基盤の強化

定量目標：営業利益180億円

将来の発展に向けた土台を固める期間

＜当社の目指す方向性＞

「技術立社」企業として、
スペシャリティ・ケミカル分野
において、
差別化された製品を開発
し、社会に貢献し続ける
高付加価値型企业となる
ことを目指します。

（単位：億円）

	2018年度 実績	2020年度 計画	増減額
売上収益 （海外比率）	1,483 (30%)	1,570 (33%)	87
営業利益 （営業利益率）	172 (11.6%)	180 (11.5%)	8
親会社の所有者に 帰属する当期利益	139	140	1
為替	実績	前提	
円/\$	110.9	110	
円/€	128.4	125	
円/元	16.5	16.5	

	2018年度 実績	2020年度 計画
ROE	9.0%	8%
ROA	7.1%	2018年度並み

（単位：億円）

	2018年度 実績	2019~20年度 計画
設備投資	132	380
研究開発費	53	130

	2018年度 実績		2020年度 計画		増減額	
	売上 収益	営業 利益	売上 収益	営業 利益	売上 収益	営業 利益
機能	457	46	550	76	93	30
化学	273	33	260	21	▲13	▲12
樹脂	451	67	460	62	9	▲5
建設	124	7	125	3	1	▲4
その他	176	21	175	18	▲1	▲3
調整・その他 収支		-2				2
合計	1,483	172	1,570	180	87	8

2018 → 2020年度 〈主な製品の利益増減〉

〔機能製品〕

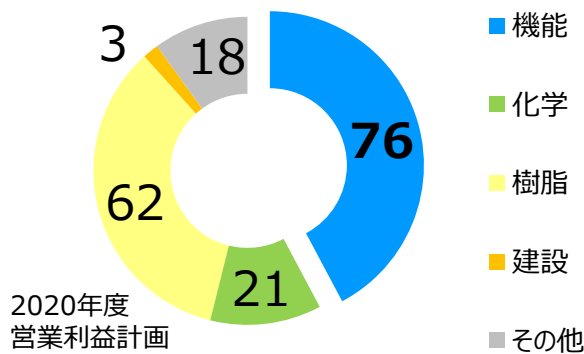
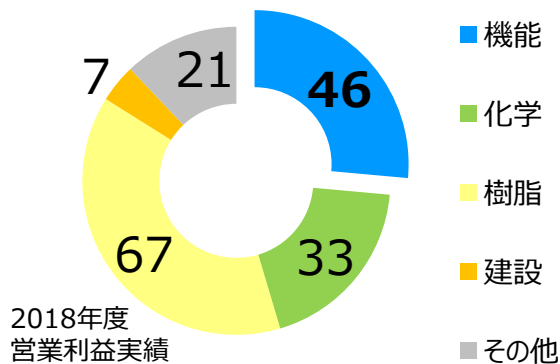
- PGA ↑
- PPS ↑
- PVDF ↑
- 炭素製品 ↓

〔化学製品〕

- 農薬 ↓
- 医薬 ↑
- 工業薬品 ↓

〔樹脂製品〕

- コンシューマー ↓
- 業務用包材 ↓



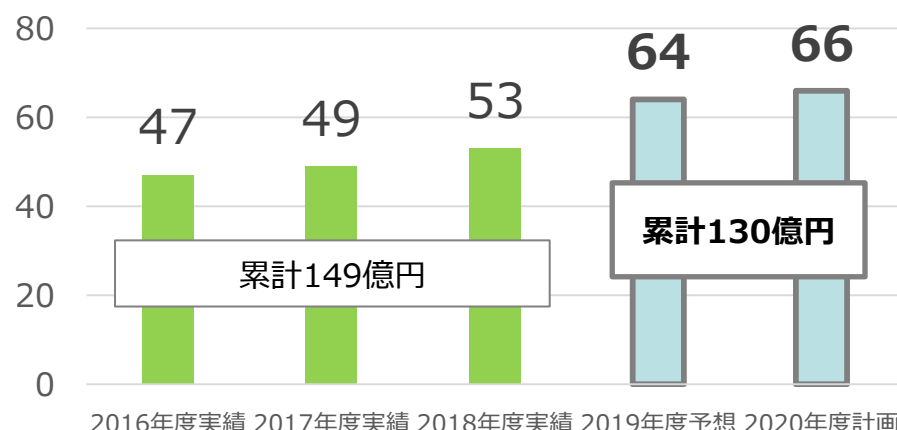
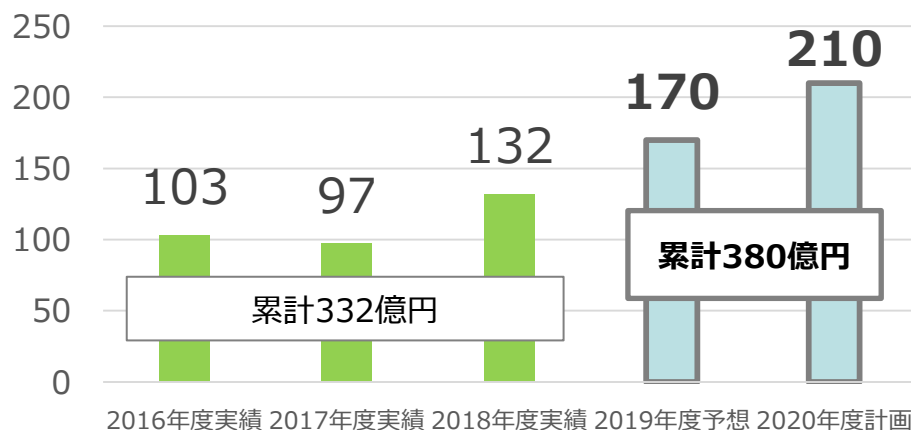
事業から継続的に得られるキャッシュと資産の有効活用により一時的に得られるキャッシュを合わせ、将来の発展に資する投資を積極的に行う。

〔2019年～20年の設備投資額 380億円〕

- ・ PPS／5千 t 増強（18～20年度）
総額100億円のうち56億円
- ・ PVDF／5千 t 以上増強（20～22年度）
総額100億円以上のうち50億円
- ・ 新規事業関連／研究開発設備等26億円

〔2019年～20年の研究開発費 130億円〕

- ・ 新規事業テーマの探索・開発を加速
- ・ 加工技術力の強化および川下展開の強化
- ・ 新規アゾール系殺菌剤の開発を加速
- ・ 他社や大学等との共創の推進



2016～18年度の進捗

2019～20年度の課題

PGA事業の拡大と利益創出

Kureha Energy Solutionsを設立、販売体制を整備。低温分解タイプの販売開始

黒字化達成、超低温分解タイプの評価・採用を進め、北米市場での拡販を加速。
中国市場での展開も開始

既存事業の競争力・収益向上

P V D F 年産2千トン増強 (19年1月稼働)

P P S 年産5千トン増強決定

炭素製品 構造改革により黒字化達成

医薬・農薬 クレメジン速崩錠発売、農薬堅調

家庭用品 価値見合いの価格浸透

業務用包材 欧州製販体制の刷新

合成繊維 PVDF加工品事業を拡大

建設 復興需要の取り込み

環境 災害廃棄物、低濃度PCBの処理拡大

P V D F 事業の更なる拡大

増強計画決定、品質差別化の推進

既存事業のビジネスモデル最適化

21年2月に増強設備を稼働

黒字継続、品質差別化の推進

クレメジン速崩錠拡販、農薬の新剤開発

安定的収益の確保、東南アジア市場開拓

事業戦略再構築

新技術導入と新製品開発

事業基盤強化策の推進

難処理廃棄物の処理拡大

機能
製品

化学

樹脂
製品

建設

その他

2016～18年度の進捗

新事業創出テーマの探索促進

市場ニーズ起点による外部と連携したテーマ抽出と開発推進

2019～20年度の課題

新規事業の国内外における探索と育成

新テーマの国内外での探索

川下展開と技術革新加速のための資源投入

外部資源の活用による事業化の加速

CSR経営の推進

CGガイドラインに沿った運営を継続

CSR推進体制の整備

経営基盤の強化

事業部主導によるバリューチェーン管理体制の構築

グループ経営の効率化と管理体制の強化

安全・品質・環境を担保する体制強化

PJ継続推進で効率化・機能強化
2年間の効果額 15億円目標

デジタル技術活用による業務効率化
生産・研究開発分野におけるスマート化の推進

SDGsまで視野を広げ、社会的課題の解決に寄与する製品の開発

経営基盤の強化

ガバナンスの整備：指名委員会・報酬委員会の設置
相談役・特別顧問制度の廃止
取締役報酬体系の変更（業績連動割合引上げ）

生産技術力の向上：
プロセス実験棟、パイロットプラントの設置

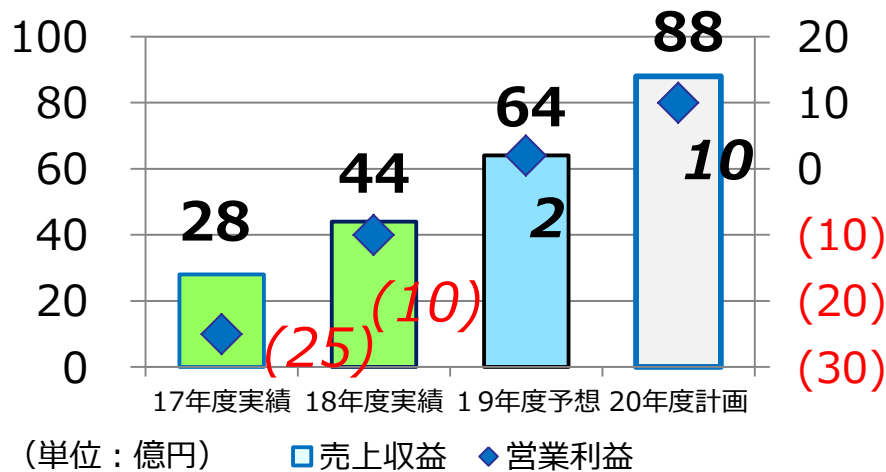
改革推進プロジェクトの推進：
効果額累計（13年度から）88億円

生産・間接部門の生産性向上PJ立上げ

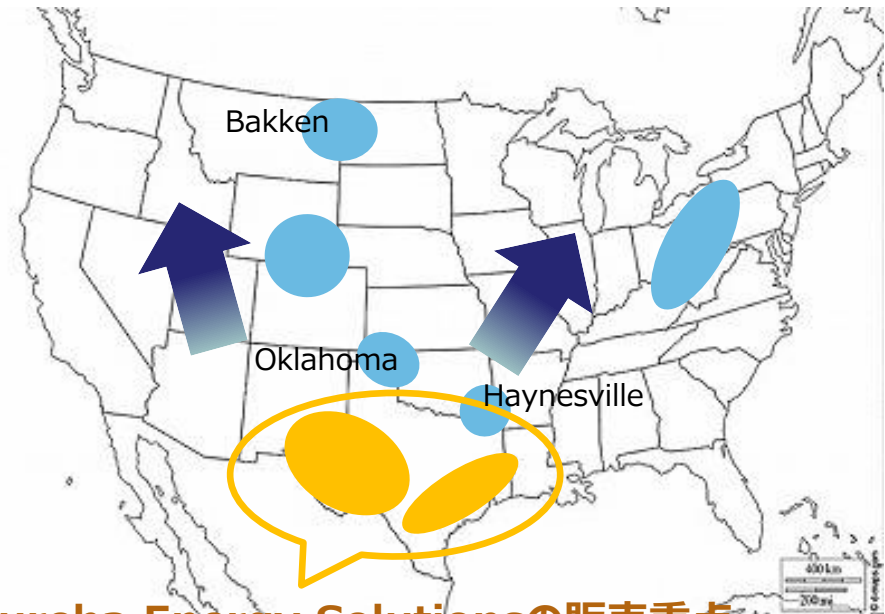
人財育成と環境整備

グローバル化、新事業創出に対応した人財育成

自社製プラグの拡販により、
2019年度黒字化、
2020年度営業利益10億円



横穴のToe部分のみから
横穴全体 (full bore) での採用拡大へ



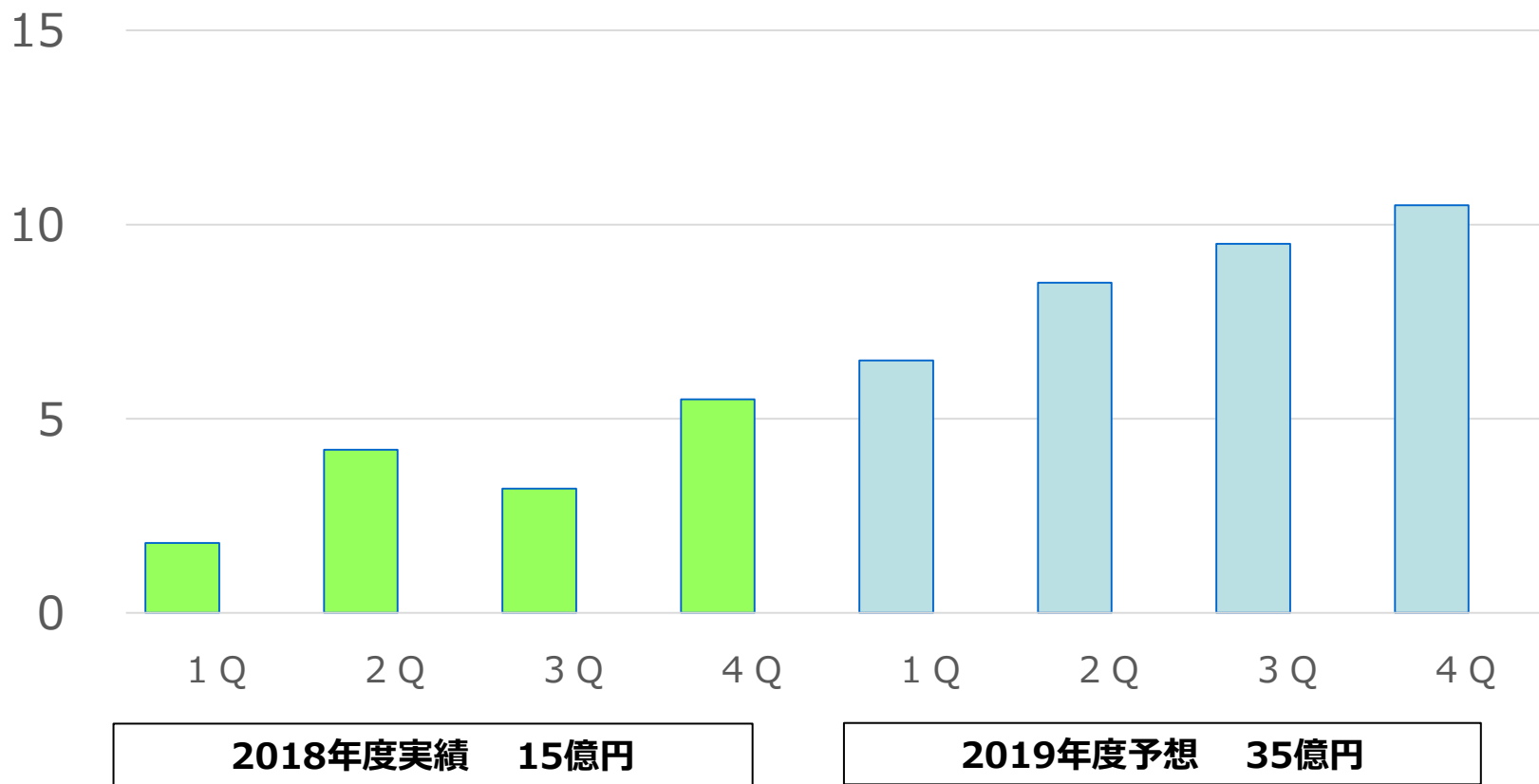
**Kureha Energy Solutionsの販売重点
エリア … Permian、Eagle Ford**

- 採用社数は17社 (2月比5社増)、販売エリアも Bakken, Oklahoma, Haynesvilleなどで拡大中。
- 一部の大手顧客は full boreでの使用を継続中。各社との本格採用に向けた商談が進行中。
- 超低温タイプは改良品の1回目のフィールドテスト終了、おおむね良好な結果で、評価拡大に向け準備中。

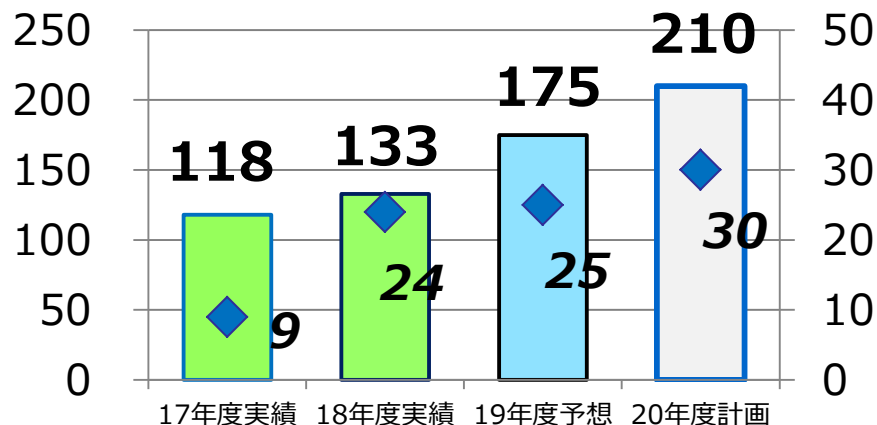
(2019年5月14日現在)

Kureha Energy Solutions 自社製プラグ 四半期売上推移

(単位：億円)



- クルマの電動化の加速により、LiB需要が急拡大中
- 中国・韓国の手電池メーカー向けを中心に、市場シェア40%以上を継続
- バインダーの高品質化と市場の成長に合わせた供給量の確保が課題
- いわき事業所での本年1月に増強した設備も含めフル稼働中、バインダー用途中心の生産体制へのシフト進行中。
- 2023年稼働目標で、年産5千トン以上の増強を鋭意検討中。



(単位：億円) □売上収益 ◆営業利益

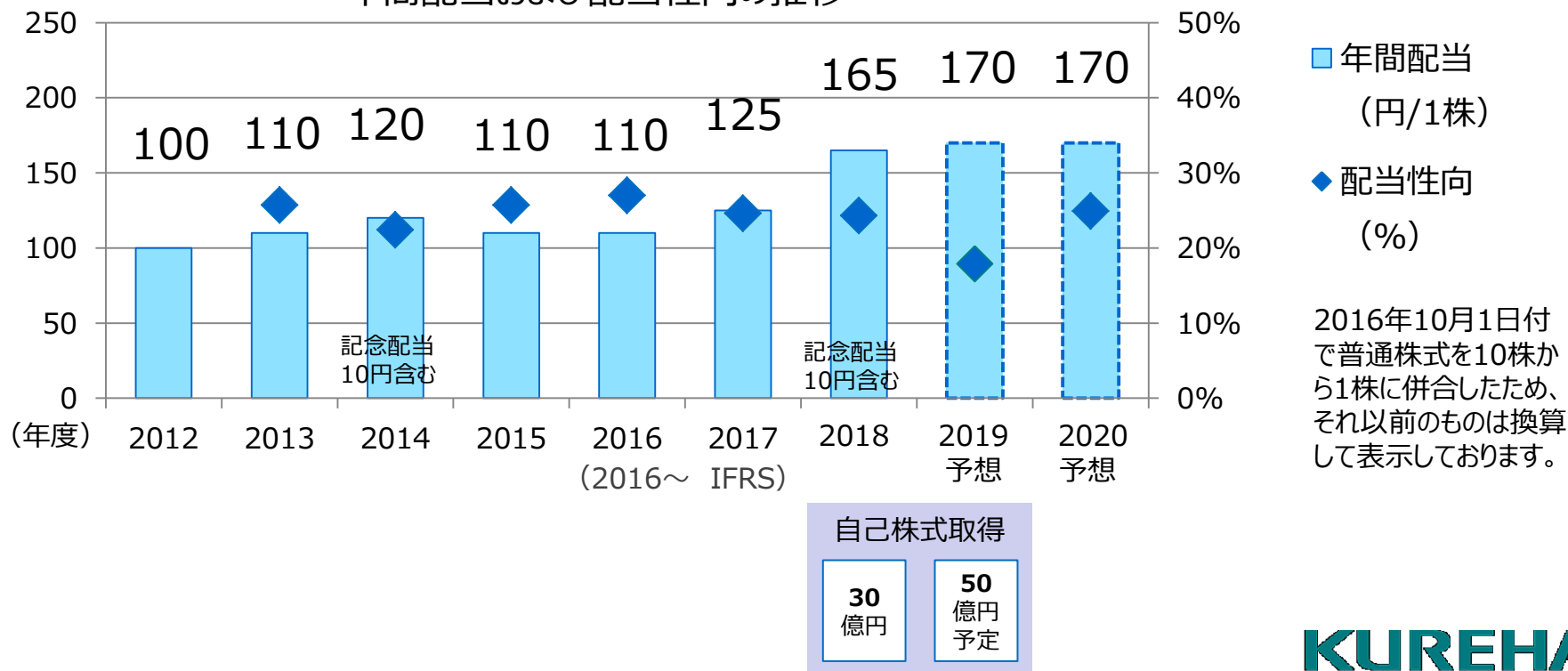


写真はいわき事業所年産2千トンの増強設備
現在年産1万1千トン (いわき/6千ト、中国/5千ト)

(2019年5月14日現在)

- 利益の配分については、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備え、内部留保を充実すること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としています。
- 柔軟な対応が可能な自己株式の取得も選択肢の一つとして検討していきます。

年間配当および配当性向の推移



Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

2020年3月期 業績予想 概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2019年 3月期		2020年 3月期予想		増減額 (率)
	通期実績	上期	下期	通期	
売上収益	1,483	750	770	1,520	37 (2.5%)
営業利益	172	80	180	260	88 (51.4%)
税引前利益	174	80	180	260	86 (49.1%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	139	61	134	195	56 (39.9%)
一株当たり利益	679.6 円		962.2 円		
配当金	165 円		170 円		
	(記念配当10円含む)				
従業員数	4,299		4,360		

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品が増収をけん引。

〔営業利益〕

機能製品以外は売上減や費用増により減益となるも、PGAの損益改善を中心に機能製品が大きく増益、さらに「その他の収益」の増加により、合わせて増益。

〔税引前利益〕

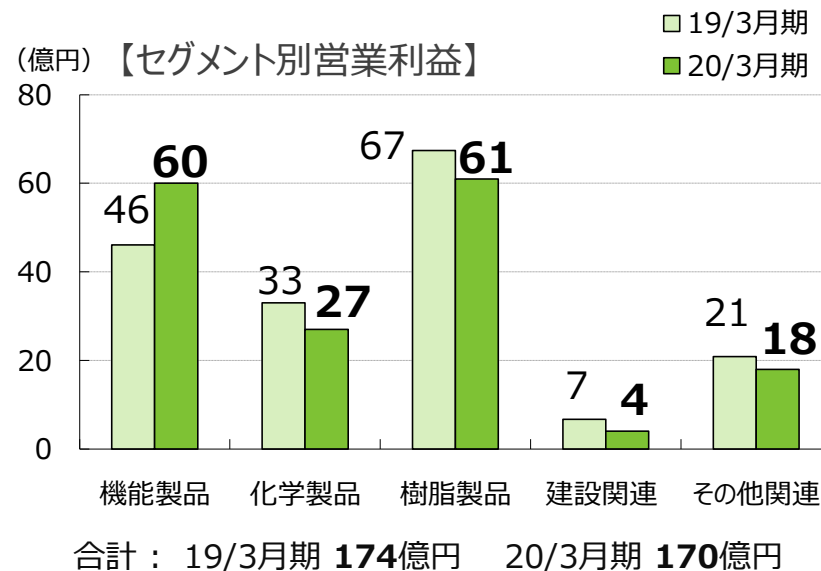
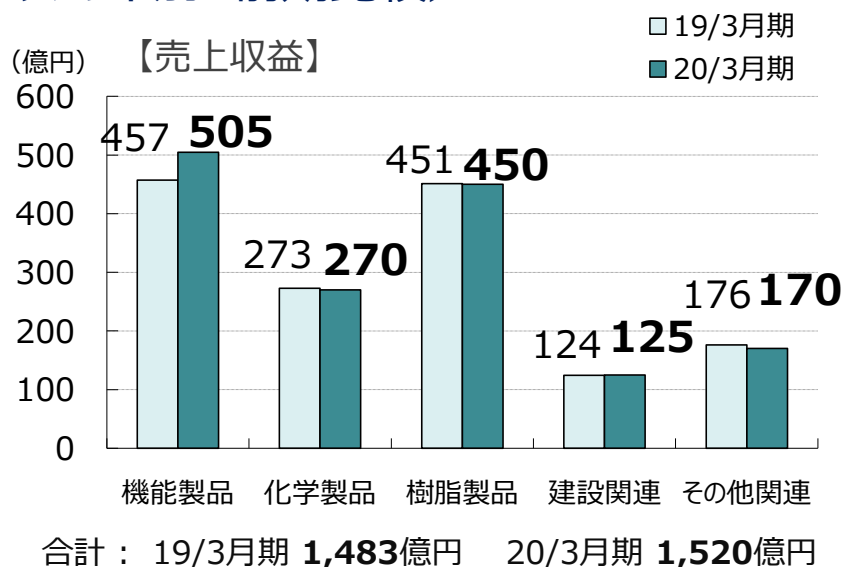
営業利益の増加により、増益。

〔親会社利益〕

税引前利益の増加により、増益。

KUREHA

〔セグメント別 前期比較〕



〈セグメント別営業利益の主な変動ポイント〉

- 〔機能製品〕 PGAは売上伸長し黒字化、PPSとPVDFは増益も炭素製品が減益、合わせて増益。
- 〔化学製品〕 医薬品は増益も、農薬と工業薬品が減益で、合わせて減益。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の費用増加と業務用包材の競争激化により、合わせて減益。
- 〔建設〕 工賃・資材費等の上昇により、減益。
- 〔その他〕 産業廃棄物処理事業における競争激化により、減益。

2020年3月期 業績予想 概要 (3)

株式会社クレハ

<セグメント別 前期比較>

2019年3月期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	457	273	451	124	176	1,483		1,483
調整							1	
その他の収益(+)							6	
その他の費用(-)							9	
営業利益	46	33	67	7	21	174	-2	172
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						7	
金融費用(-)							4	
税引前利益								174
親会社利益								139

…補助金収入 3億円
…固定資産除売却損 8億円

2020年3月期 予想

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	505	270	450	125	170	1,520		1,520
調整							0	
その他の収益(+)							100	
その他の費用(-)							10	
営業利益	60	27	61	4	18	170	90	260
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						7	
金融費用(-)							7	
税引前利益								260
親会社利益								195

…本社別館土地売却益 92億円
…固定資産除売却損 7億円

KUREHA

【機能製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	増減 (率)	
機能樹脂	273	298	25	9%
炭素製品	51	47	-4	-8%
クレハ単体 計	325	345	20	6%
連結子会社 計	313	355	42	13%
連結売上消去	-181	-195	-14	-
連結売上収益 (上期)	457 (226)	505 (240)	48 (14)	10% (6%)
連結営業利益 (上期)	46 (7)	60 (20)	14 (13)	30% (200%)

<前期比> 増収 ↑ 増益 ↑

機能樹脂

シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGAが伸
長し黒字化、LiB用バインダー向けPVDFは
売上拡大も費用増で利益微増、PPSは持
分利益を含めて採算改善し、合わせて増収・
増益。

炭素製品

炭素繊維は堅調な需要によりフル生産継続
も、炭素材料の売上減などから、減益。

KUREHA

【化学製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	増減 (率)	
農薬	83	67	-16	-20%
医薬品	51	53	2	5%
工業薬品	101	98	-3	-3%
クレハ単体 計	235	218	-17	-7%
連結子会社	71	75	4	6%
連結売上消去	-33	-23	10	-
連結売上収益 (上期)	273 (141)	270 (140)	-3 (-1)	-1% (-0%)
連結営業利益 (上期)	33 (21)	27 (17)	-6 (-4)	-18% (-18%)

＜前期比＞ 減収↓ 減益↓

農薬

農業・園芸用殺菌剤は、原体納入先の在庫調整に伴う数量減で、減収・減益。

医薬品

新剤形による販売が伸び、増収・増益。

工業薬品

採算を重視した販売を継続するも、一部製品の数量減があり、減収・減益。

KUREHA

【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	増減 (率)	
家庭用品	208	214	6	3%
業務用包材	62	48	-14	-23%
クレハ単体 計	271	262	-9	-3%
業務用包材(海外)	126	136	10	8%
合成繊維	44	44	0	-1%
その他	67	68	1	1%
連結子会社 計	238	248	10	4%
連結売上消去	-57	-60	-3	-
連結売上収益 (上期)	451 (228)	450 (235)	-1 (7)	0% (3%)
連結営業利益 (上期)	67 (34)	61 (35)	-6 (1)	-9% (2%)

＜前期比＞ 減収↓ 減益↓

家庭用品

家庭用ラップ「NEWクレラップ」や「キッチンさん」の販売を伸ばすも、販促費を含む費用の増加に伴い、増収・減益。

業務用包材

一部製品の販売をクレハからグループ会社へ移管。熱収縮多層フィルムの海外展開を強化するも、競争激化により、売上横ばい、減益。

KUREHA

【建設・その他】セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位：億円)

	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	増減 (率)	
建設関連事業	203	195	-8	-4%
連結売上消去	-79	-70	9	-
連結売上収益 (上期)	124 (50)	125 (55)	1 (5)	1% (10%)
連結営業利益 (上期)	7 (1)	4 (2)	-3 (1)	-40% (59%)

【その他関連】

環境事業	120	114	-6	-5%
運送事業	83	85	2	2%
病院事業	37	39	2	5%
その他	19	22	3	17%
連結子会社 計	259	260	1	0%
連結売上消去	-83	-90	-7	-
連結売上収益 (上期)	176 (81)	170 (80)	-6 (-1)	-4% (-1%)
連結営業利益 (上期)	21 (8)	18 (8)	-3 (0)	-14% (4%)

【建設関連】

<前期比> 横ばい➡ 減益↓

建設事業は、工賃・資材費の上昇を見込み、売上横ばい・減益。

【その他関連】

<前期比> 減収↓ 減益↓

環境事業は、産業廃棄物処理事業の競争激化により、減収・減益。

KUREHA

(単位：億円)

		2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	2019年3月期 2020年3月期 比較	
設備投資額		132	170	38	(29%)
減価償却実施額		103	115	12	(12%)
研究開発費		53	64	11	(21%)
有利子負債残高		390	395	5	(1%)
為替レート (円/\$)	期中平均	110.9	110.0		
	期末	111.0	110.0		
	(円/€)				
	期中平均	128.4	125.0		
	期末	124.6	125.0		
	(円/元)				
	期中平均	16.5	16.5		
	期末	16.5	16.5		

キャッシュフロー予想

株式会社クレハ

(単位:億円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減
税引前当期利益	174	260	86
減価償却費および償却費	103	116	13
その他	-44	-197	-153
営業キャッシュフロー	234	179	-55
投資キャッシュフロー	-84	-53	30
財務キャッシュフロー	-155	-132	23
現金及び現金同等物に係る換算差額	-0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	-5	-6	-1
現金及び現金同等物の期首残高	65	60	-5
現金及び現金同等物の期末残高	60	54	-6

KUREHA

IV. 連結子会社の概要

連結対象会社の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	18年3月期		19年3月期		増減	
	売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
(株)クレハ	789	1,927	830	1,982	42	55
(株)クレハトレーディング・グループ2社	225	141	227	132	2	-10
機能製品						
(株)クレハ	294		325		31	
(株)クレハトレーディング・グループ2社	107		106		0	
クレハエクストロン(株)	22	21	25	23	3	2
クレハエクステック(株)	19	14	20	14	1	1
Kureha Europe・グループ4社	22	8	20	11	-1	3
Kureha America Inc.・グループ4社	62	253	65	268	3	16
呉羽（上海）炭繊維材料有限公司	11	15	13	14	2	-1
呉羽（中国）投資有限公司・グループ2社	54	106	64	100	10	-6
連結調整	-173		-181			
計	416		457		41	
化学製品						
(株)クレハ	224		235		11	
(株)クレハトレーディング	65		71		6	
連結調整	-27		-33			
計	262		273		11	
樹脂製品						
(株)クレハ	270		271		0	
(株)クレハトレーディング	52		49		-3	
クレハ合繊(株)	42	49	44	51	2	2
呉羽（中国）投資有限公司・グループ2社	2		1		-1	
Kureha America Inc.・グループ4社	20	9	17	8	-3	-1
Kureha Europe・グループ4社	97	79	94	73	-4	-6
クレハベトナム	34	34	32	31	-2	-4
連結調整	-64		-57			
計	454		451		-2	

KUREHA

連結対象会社の概要 (2)

株式会社クレハ

(単位：億円)

		18年3月期		19年3月期		増減	
		売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
建設関係	クレハ錦建設(株)・グループ4社	219	113	179	120	-40	7
	(株)クレハエンジニアリング	20	21	24	18	4	-3
	連結調整	-66		-79			
	計	174		124		-49	
その他	(株)クレハ環境	97	92	106	106	9	14
	(株)クレハ分析センター	13	7	13	7	0	0
	クレハ運輸(株)・グループ2社	83	61	83	65	0	4
	(株)クレハトレーディング	1		1		0	
	クレハサービス(株)	5	12	6	14	0	1
	社団医療法人呉羽会	36	34	37	33	1	-2
	クレハスタッフサービス(株)	12	6	13	6	1	0
	連結調整	-79		-83			
計	168		176		9		
連結合計		1,473	2,423	1,483	2,474	9	50
(連結対象子会社)		(29)		(29)			
(持分法適用会社数)		(3)		(3)			

KUREHA

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。